

国際華語特別集会メッセージアウトライン

(2008年2月15—17日)

主題：真理に対して絶対的になり、真理で構成される

2008年華語特別集会のための標語

最高の真理とは、神がキリストの中で人と成って、人を神格においてではなく、
命、性質、構成、表現において神とならせ、
贖う神と贖われた人が共に結合され、ミングリングされ、合併されて、
一つの実体、すなわち新エルサレムとなることです。

召会が真理の柱また基礎であるとは、
召会のあらゆる肢体が真理を学び、真理を経験し、真理を適用し、
真理を語り、真理を拡張することによって、
真理の絶対性を維持すべきであることを暗示します。

わたしたちは神の生ける言葉の真理で構成されて、
キリストの証しとなり、キリストを表現する必要があります。

わたしたちは神を愛し追い求める者、また神を真に礼拝する者となって、
神の生ける言葉で構成され、神を輝かしく表現する必要があります。

真理に対して絶対的になる

聖書：ヨハネ 8:32, 17:17, 18:37, IIテサロニケ 2:13, IIペテロ 1:12, 2:2

I. 神聖な真理は絶対的であり、わたしたちは真理に対して絶対的になり、真理の絶対性を維持しなければなりません——ヨハネ 14:6, 18:37, IIIヨハネ 3-4, 8節：

- A. 真理に対して絶対的になるとは、情感を顧みないで、個人的な関係を見捨て、自己を支持しないことを意味します——マタイ 16:24-25, Iペテロ 1:22。
- B. 真理は唯一の標準です。わたしたちは真理の側に立って、自己に反対しなければなりません。わたしたちは自己から救い出されてはじめて、真理の絶対性を維持することが可能になります——ヨハネ 8:32, IIヨハネ 2節, IIIヨハネ 3-4節。
- C. もし真理がわたしたちにとって絶対的なものでないなら、わたしたちは神を認識しておらず、神の言葉をも認識しません——IIテサロニケ 2:10, Iヨハネ 5:20。
- D. もしわたしたちが真理に対して絶対的でないなら、自分のために、また自分の願望のために、神の真理を犠牲にするでしょう——箴 23:23。
- E. わたしたちは神の真理を尊重し、真理の道を取り、真理を少しも曲げてはなりません——IIペテロ 2:2。

II. わたしたちは現にある真理に対して絶対的であるべきです——1:12：

- A. 主の回復の中で、真理の光はその時代で最新です。ですから、わたしたちは現にある真理、今日の真理を認識する必要があります——ヨハネ 8:12, 32, 18:37。
- B. 現にある真理は、神の永遠のエコノミー（エペソ 1:10, 3:9）、神聖な三一（IIコリント 13:14, 啓 1:4-5）、すべてを含むキリストのパーソンと働き（コロサイ 2:9, 16-17, 3:11）、究極的に完成された命を与える霊（ヨハネ 7:39, Iコリント 15:45 後半, 啓 22:17）、神の永遠の命（ヨハネ 3:15-16）、キリストのからだとしての召会（エペソ 1:22-23）、新エルサレム（啓 21:2, 10-11）に関する啓示を含みます。

III. わたしたちは最高の真理に対して絶対的であるべきです——ローマ 8:3, 1:3-4, 12:4-5：

- A. 最高の真理とは、神がキリストの中で人と成って、人を神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神とならせ、贖う神と贖われた人が共に結合され、ミングリングされ、合併されて、一つの実体、すなわち新エルサレムとなること——ヨハネ 1:12-14, 14:20, 啓 21:2, 10-11。
- B. 神聖な啓示の高嶺、すなわち聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」は、神がキリストの中で人と成って、人が神格においてではなく、命と性質において神となるという啓示です——サムエル下 7:12-14 前半, ローマ 1:3-4, エペソ 3:17 前半。
- C. 神が人と成ったのは、肉体と成ることを通してです。人が神となるのは、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化を通してです——ヨハネ 3:5-6, 1:12-13, ローマ 6:19, 22, 12:2, 8:29-30。

IV. わたしたちは主観的な真理に対して絶対的であるべきです——ヨハネ 8:32, 14:6：

- A. 聖書の中の真理には、客観的な面と主観的な面があります。客観的な面は主観的な面のためです——ローマ 8:34, 10, コロサイ 3:1, 4, 1:27。
- B. ヨハネによる福音書は主観的な真理についての書であり、召会を生み出すためです

—— 4:14, 6:57, 14:16-17, 20, 15:1, 4-5, 20:22。

V. わたしたちは真理を信じることに對して絶対的であるべきです——Ⅱテサロニケ 2:13：

- A. 信じることは、見えない景色（真理）の実質です——Ⅰテモテ 1:4。
- B. わたしたちが御言の中の主に対して開き、光が入って来るとき、「カシャ」という反応があります。それは真理の神聖な景色をわたしたちの霊の中にもたらしめます。この反応が信じることです——コロサイ 1:5-6。
- C. わたしたちは、真理に対する客観的な認識を持つだけでなく、真理を信じること、すなわち、わたしたちが客観的に認識した真理に対する反応をも持ちます——ユダ 3節。

VI. わたしたちは真理の機能に對して絶対的であるべきです——ヨハネ 8:32, 17:17：

- A. 真理はわたしたちを自由にします。真理を失うとは束縛され、奴隷状態となることです。しかし、真理を認識するとは自由を得ることです—— 8:32。
- B. 真理はわたしたちを聖別し、わたしたちが神の要素で浸透されるようにします—— 17:17。
- C. わたしたちは真理を持てば持つほど、ますます束縛から解放され、ますます神の要素で浸透されます。

VII. わたしたちは真理の道に對して絶対的であるべきです——Ⅱペテロ 2:2：

- A. 真理の道とは、真理にしたがったクリスチャン生活の道筋です。この真理は新約の内容の実際です。
- B. 真理の道は真つすぐな道、神の道です—— 15節, ルカ 20:21。
- C. 真理の道を取るとは、聖別する真理に対する従順によって、わたしたちの魂をきよめることです——Ⅰペテロ 1:22, ヨハネ 17:17。

VIII. わたしたちは真理の拡張に對して絶対的であるべきです——マタイ 24:14, 28:19：

- A. 神はすべての救われた人が、真理の全き知識へ至ることを願っています——Ⅰテモテ 2:4。
- B. 主はわたしたちに、行ってすべての国民を弟子とし、現在の時代を満了（終結）させるようにと命じました——マタイ 28:19。
- C. わたしたちは真理を学び、真理を適用し、真理を語り、真理を拡張することで、主と一になる必要があります——ゼカリヤ 8:16。
- D. 神聖な真理を拡大させることは、主の復興をもたらします。イザヤ第 11 章 9 節によれば、復興が来るのは、「水が海を覆うように、地はエホバを知る知識に満ちる」からです。